

ミソハギ科 ヒメミソハギ属

# ヒメミソハギ (姫襖萩)

*Ammannia multiflora* Roxb.

## 自生環境

水田、湿地 など

## 原産地

日本在来

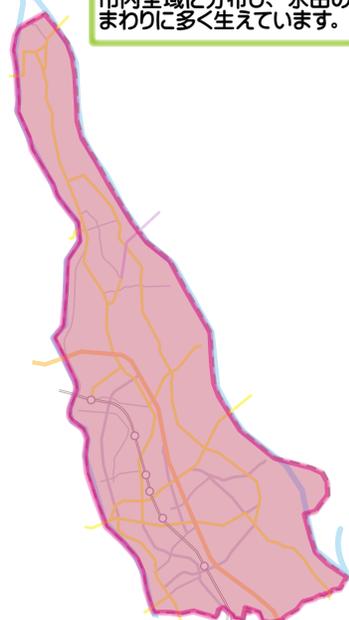
## 生育を脅かす要因



市内では比較的普通に見られますが、全国的には減少傾向なので、油断は禁物です。外来種との競争、湿地の埋め立て、過度の農薬散布などが、減少リスクとなります。

## 市内の分布状況

市内全域に分布し、水田のまわりに多く生えています。



## 特徴

- ☆ いわゆる「水田雑草」のひとつで、水田とその周辺が主な生育場所となっています。高さ10～30cmほどの1年草ですが、出現時期や周囲の環境に応じて、草丈は柔軟に変動します。
- ☆ 細長い葉が2枚ずつ向かい合わせになり、上から見ると十字に見えるようなつきかたをしています。枝を分けないまま開花結実を済ませることもありますが、よく育つと多数の枝を出し、まるでクリスマスツリーを思わせるような円錐形の枝ぶりとなります。
- ☆ 葉のわきに小さな花や果実をびっしりとつけます。花は直径約1.5mmと極小サイズで、肉眼での観察はなかなか大変ですが、よく見ると4枚の花びらがかんちがついています。果実は丸く、熟すと真っ赤になり、中のタネの粒も目立ってまるでザクロの実のようになります。

## 絶滅危惧種予備軍

自然を大切に…そう言われてずいぶん経ちます。しかし現在も、環境負荷の大きい状態が続いていて、生きものたちの減少も歯止めがかかっていません。数年前まで雑草のような存在だったものが、気づいたら…という現象も現在進行形です。ヒメミソハギもそのひとつです。今のところ市内では比較的ふつうですが、全国的には急減しているとのことで、今後の動向が気になります。



とても小さな4枚の花びらがある

葉わきに花をたくさん咲かせるが、とても小さいため見つけづらい



茎は多数枝分かれする



果実本体がく

果実はがくに包まれている



葉は明るい緑色で毛は無い

葉の根もととは茎を抱きかかえるようにつく



寒くなると、果実と葉が真っ赤に色づく



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

